

愛知三の丸クリニック 睡眠時無呼吸検査について

～今月は睡眠時無呼吸のスクリーニングについて～

睡眠時無呼吸は高血圧、心臓病、脳卒中を起こしやすく、高齢者では認知症とも関係しています。

眠気などの自覚症状がない場合が多く、運転中の居眠り事故には睡眠時無呼吸が関係しているとされています。運転を業務としている人や頻回に運転をする人は自覚症状がなくても、できる限り簡易検査を受けてください。

特に以下のような症状がある方は注意してください。

愛知三の丸クリニックでは、簡単なスクリーニングで検出して、マスク療法により治療していくことができます。

●車の運転をよくする人

睡眠時無呼吸により交通事故の発生率が2.5倍に増加します。運転を業務としている人は、厚生労働省からも睡眠時無呼吸のスクリーニングをすることが推奨されています。



●夜間のいびき

昼間の眠気などの自覚症状がなくても、睡眠時無呼吸の可能性がありま

す。

●昼間の居眠り

食後に眠くなるのは生理的です。会議中や大事な仕事中に眠くなるときは睡眠時無呼吸かもしれません。



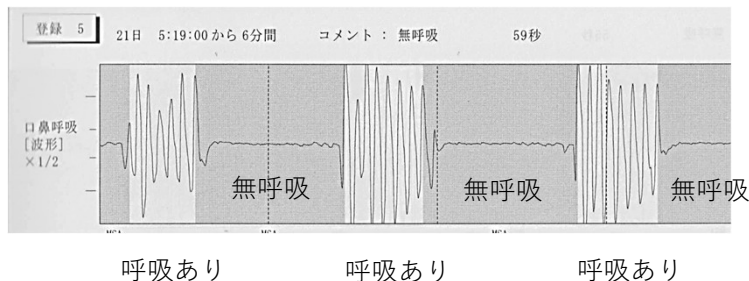
●薬を飲んでも血圧が下がらない人

降圧薬を飲んでも血圧が下がらない人のなかに睡眠時無呼吸が隠れていることがあります。マスク療法で血圧が低下する場合があります。



●睡眠中の呼吸波形（簡易ボリグラフィ）

認知症の患者さんに睡眠時無呼吸が合併した例です。頻回に睡眠時無呼吸が起きています。



●治療は

夜間無呼吸が起きたときにマスクで酸素を送り込んで治療します。



睡眠時無呼吸は簡易ボリグラフィをつけて自宅で検査できます。

異常があれば、専門の施設で終夜睡眠脳波を行い、夜間就眠中のマスク療法（CPAP）の適応を確かめます。当院で簡易検査を行い、異常があれば専門施設へ紹介します。

ご予約は

愛知三の丸クリニック 内科外来へ

電話番号 052-961-7012

